

隠岐の古墳

隠岐地域では

島前・島後からなる隠岐の古墳は、すでに消滅したものも含めると400基以上を数え、円墳が多いのが特徴です。

島前で確認された最も古い古墳は、4世紀後半頃の新開1号墳(海士町)で、その後も湾に面した平野を望む丘に古墳が造られました。一方、島後で古墳が出現するのは5世紀頃と考えられ、八尾川・重栖川流域に多く築かれます。八尾川下流域では6世紀になると7基の前方後円墳が集中的に分布しています。この地域を治めた有力者の墓が連綿と築かれたこの一帯は、奈良時代には隠岐国府が置かれるなど、政治の中心地として重要な地域だったことがうかがえます。

島前・島後ともに6世紀後半から7世紀につくられた横穴墓が多いのも特徴の一つです。



時期	隠岐
前(四世紀)	甲ノ原2号
中(五世紀)	斎宮谷1号 能本原3号
後(六世紀)	玉若南命神社
終(七世紀)	美々津丘 平神社 水若酢

隠岐の古墳

しんかいこふんぐん

◆新開古墳群◆ 土橋のある妙な古墳

海士町海士

特別養護老人ホーム建設のため発掘調査された4基の円墳群です。規模はいずれも20m以下で、径10mと最も小さな4号墳が現地に保存整備されています。

これらは、4世紀後半～5世紀頃に造られたと見られ、1号墳は隠岐で最も古いことが分かりました。

2号墳・4号墳は周囲を廻る溝に通路状の土橋が付いた珍しい古墳として知られています。



● 入館料 中学生以上300円 小学生以下150円
● 電話番号 08514-2-1470
● 開館期間 3月初～11月末(無休)
● 開館時間 午前9時～午後5時

◆海士町歴史民俗資料館◆

海士町に流刑となった後鳥羽上皇に関する資料を中心に、町内で出土した考古資料(縄文、弥生、古墳時代)、近世の流人資料、民俗資料などが展示されています。



● 入館料 中学生以上300円 小学生以下150円
● 電話番号 08514-2-1470
● 開館期間 3月初～11月末(無休)
● 開館時間 午前9時～午後5時

● 入館料 大人 300円、高・大学生 200円、小中学生 150円
● 開館期間 4月中旬～10月末
● 開館時間 午前9時～午後4時30分(休館:毎週月曜)
● 電話番号 08514-7-8877

みたじりこふん

◆美田尻古墳・ふるさと館◆ 湾を見下ろす精美な古墳

西ノ島町美田

美田八幡宮の裏、別府港を見下ろす眺望の良い丘の上に築かれた円墳です。

径約15mのこんもりとした墳丘は2段築成され、葺石も見ることができます。築造当初は遠方からもよく目立つ精美な古墳だったと考えられます。

すぐ近くには、古くから伝わる漁具や民具・文化財などが展示されている西ノ島町ふるさと館があるので、併せて見学するのがおすすめです。祭祀遺跡で有名な兵庫遺跡や物井横穴墓の出土遺物も見ることができます。



● 入館料 大人 300円、高・大学生 200円、小中学生 150円
● 開館期間 4月中旬～10月末
● 開館時間 午前9時～午後4時30分(休館:毎週月曜)
● 電話番号 08514-7-8877



ねこがいわやこふん

◆猫ヶ岩屋古墳◆ 露出した石室天井石

知夫村宮谷

国指定名勝・天然記念物「隠岐知夫赤壁」への道中にある古墳です。墳丘が流れ、自然石を利用した横穴式石室の天井石が露出しています。



● 入館 無料
● 電話番号 08514-8-2301
● 開館 午前9時～午後4時(平日のみ)
※見学には予約が必要
※7月下旬～8月中旬は特別開館

◆知夫村郷土資料館◆

高津久横穴墓群出土遺物など、知夫里島の考古資料、農具、漁具などの民具を収蔵展示。



● 入館 無料
● 電話番号 08514-8-2301
● 開館 午前9時～午後4時(平日のみ)
※見学には予約が必要
※7月下旬～8月中旬は特別開館

● 入館 無料
● 電話番号 08514-8-2301
● 開館 午前9時～午後4時(平日のみ)
※見学には予約が必要
※7月下旬～8月中旬は特別開館

たまわかすみことじんじゃ こふんぐん
◆玉若酢命神社古墳群◆

精美的な前方後円墳で有名

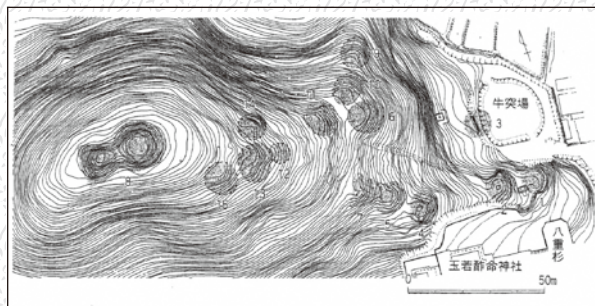
県指定

隠岐の島町下西

玉若酢命神社の北西丘陵上に位置し、前方後円墳と10基以上の円墳からなる古墳群です。頂上には最も大きな8号墳があり、長さ32mの精美的な前方後円墳として知られています。後円部頂上には石室か石棺の用材と見られる石があります。5号墳と7号墳は別の古墳とされていましたが、最近では1基の前方後円墳と見る意見もあります。3号墳は消滅しましたが、横穴式石室をもった6世紀の古墳でした。



西郷港から隠岐一畑バス（玉若酢命神社、都万向山方面）約10分、玉若酢命神社前下車



こうのはら 2ごうふん

◆甲ノ原2号墳◆

隠岐最古の前方後円墳

町指定

隠岐の島町下西

4基からなる甲ノ原古墳群のうち、2号墳は全長31mの完全な形で残っている前方後円墳です。墳丘形態等から4世紀終わり～5世紀初め頃に造られた可能性もあるとされています。3号墳は二宮神社が建てられており、前方部は半分しか残っていません。全長36mの前方後円墳2基を含む斎京谷古墳群も隣接しており、この一帯は首長墓が集中する地区として注目されます。



玉若酢命神社から徒歩5分

へいじんじゃ こふん

◆平神社古墳◆

隠岐最大の前方後円墳

県指定

隠岐の島町平

6世紀後半の前方後円墳で、全長約48mと隠岐最大の規模を誇る古墳です。かつては葺石や埴輪の破片も落ちていたようで、築造当時は荘厳に見えたことでしょう。

後円部にある横穴式石室は半壊し、側壁と奥壁の一部しか残っていませんが、小さな石材を丁寧に積み上げている様子が分かります。石室の位置が墳丘の中心からずれており、未確認の主体部がもう1基存在するのでは、とも言われています。



玉若酢命神社から徒歩20分

隠岐の古墳



おすすめ
見学コース

甲ノ原古墳群

徒歩
5分

斎京谷古墳群

徒歩
10分

玉若酢命
神社古墳群

徒歩
20分

平神社古墳

みずわかすみじんじゃ こふんぐん

◆水若酢神社古墳群◆

隠岐最大の横穴式石室

隠岐の島町郡

神社の境内にある2基の古墳群です。1号墳は墳丘が失われ、長さ約11mと隠岐最大の横穴式石室が露出しています。埋もれて見ることはできませんが、玄室内には刳り抜いて造った石棺が2つ収められています。2号墳は径20mの円墳です。

1号墳からは土器のほか、大刀や鋤などの鉄器・ガラス玉が出土しており、東京国立博物館に収蔵されています。



西郷港からバス（重栖・福浦方面）40分

きたかたよこあな ぼぐん

◆北方横穴墓群◆

島後を代表する横穴墓群

隠岐の島町北方

岩盤に掘り込まれた20基以上からなる、隠岐を代表する横穴墓群です。崩落しているものもありますが、入口から玄室までよく残るものもあり、中には床の岩盤に遺体を置くベッドを持つものもあります。



隠岐の島町五箇支所から徒歩5分

